

第五句

局第五

佛國人連築茶海

通以結之相成付以之條約補中
物中其物者人度又免我其
條約和横其文其副以属其
以終年七月之

陸軍少將大山山殿

陸軍少將大山山殿

佛國人

工匠家

ゲリノ

慶朝

明治八年七月二日

給料

金銀百七拾圓

住所

東京市本町三丁目
新井白石社境内

W. W. ...
三十五歳

工匠家ケリノ一氏條約書寫

陸軍少将 兼陸軍少輔 大山久ト佛人工匠家ケリノ一氏

トノ間ニ双方定議條約スルノ左ノ如シ

第一條

一條 約雇年限ハ明治八年七月二日ノ十二ヶ月
間ニテ明治九年七月二日迄ト定ム

第二條

一ケリノ一氏ノ職務ニ連染ノ因事及連染物ノ
巡見西園寺ヲ由西元可也

第三條

一ケリノ一氏給料ハ一月日本金卅七拾圓
月次之ヲ受テ可也

但給料其他口用諸費一切自費先可也

第四條

一ケリノ一氏ノ勤務時間ハ陸軍ノ由西元長ノ
命ニ從テ可也

第五條

一ケリノ一氏並家族居住ノ為ニ適宜ノ日本
家屋一字ヲ貸渡テ可也

本
館
印

第六條

一 租限中佛國の時還し又ハ自己ノ便宜ニ依リ
陸軍ヲ集結之上敢テ辭スル時其ノ
給料ト云ハサル可シ

第七條

一 ケソノイ氏雇期限中不得止事故アリテ急事
ト云雇ヲ止ル時ハ條約満期迄ハ給料ヲ受
ル可シ

第八條

一 ケソノイ氏勤務事年限中不得強又ハ急情
ナル所業ヲ以テ陸軍ト云急事ト云急情ト云之
ヲ通報セ雇ヲ止ム可シ然レ時ハ條約申渡ノ
日ハ給料ト云ハサル可シ

第九條

一ケリノ一氏ハ高軍ノノ金ヲ支取務ノ為ニ
東京府外旅行スル時ハ高軍ヤメ海ニ遊スル
旅費定別士友相高ノ旅費ヲ与フ可シ
第九條

一此條約書中ニ記載スル所ノ給與金等ハケリ
ノ一氏ニ与テ可シ金額更ニ多ク可シ
右ノ條ハ明治八年七月二日在東京ニ結ビ他
ノ條トハ二通ニ違フ程ノ双方調ヤスル者也

高軍ヲ將高軍ヲ輔大山 巖

佛玉人工匠家 ケリノ

